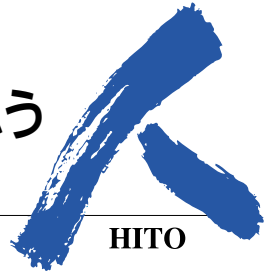




ボクシングを続けていて
本当に良かったと心から思う
ボクシングが大好きです



HITO

ふとし
水村太志さん
(ボクシング・ライトフライ級
インターハイ出場選手)

「まだまだ少ないボクシング人口。僕の後輩たちが、ボクシングを見て、かっこいいと思ってくれたら...やってみたいと思ってくれたら、うれしいです。これからもインターハイのような大きな大会に出場できる選手が狭山から生まれていったら、すごいですよね。」と語ります。

狭山台にお住まいの県立狭山高校3年生、水村太志さんがボクシングを始めたきっかけは、とにかく強くなりたかったから。そんな軽い気持ちで市内のボクシングジムの扉を叩いたのが2年前のことです。それまでサッカーなどのスポーツはやっていましたが、ボクシングはまったく初めてでした。しかし、丸2年間週に6日というハードな練習をこなしたのほど。見事ライトフライ級の埼玉県代表選手として、8月に熊本県で開催されるインターハイに出場が決定したのです。

軽い気持ちで始めたボクシング。初めは練習も遊び半分といった感じでした。その水村さんがこれほどまでに夢中になったのは、初めて公式戦に出場して負けたときから。勝てるだろう。とタカをくくっていた試合での負け。本気で練習を重ねてきた人たちの中では、自分の実力が通用しないと分かったとき、本当に強くなりたい。と思ったそうです。そしてそれは、最初のとにかく強くという気持ちではなく、ボクシングの世界で、もっと上に行きたい、強くなりたい。と思ったのです。



トレーナーである、第37代日本ミドル級王者・大和田正春氏に、インターハイ出場決定を報告。

も、良き理解者となりました。大会には応援にかけつけ、毎日の食事量も減量のためのメニューを考えて作ってくれます。

実は、水村さんにとって、ボクシングを続けていて一番辛いのが、ウエイトを落とすこと。大会前には平均56kgの体重を、48kgまで落とさなければなりません。毎日サウナスーツを着て走ったり、ジムでトレーニングを積み、1か月で8kg減量します。学校でも、友だちが学食に行って好きなものを食べている傍らで、一人サラダや果物を持参し、昼食にします。友だちが食べているものを食べられないのはいつものことだから。とは言つもの、やはりどこか淋しそう、高校生活らしい顔に戻ります。

現在高校3年生である水村さんに、将来の目標を伺うと「ええ...」と初めは戸惑いながらも、何になるかはまだ分からないけど、ボクシングは続けたいと思っています。だから、まずは高校生最後の大会であるインターハイに勝ちたい。日本中から僕の階級で40人くらいが集まってくるから、その中で絶対優勝したいです。ときっぱりと言います。好きなものにも、すすべに向き合い、目標に向かって努力する水村さんの姿は、清々しく、見守る者に忘れていた何かを思い出させてくれるようです。好きなボクシングを一生懸命やり遂げた高校生活は、きつと、水村さんのこれからの人生の糧となることでしょう。

太陽の恵みを受けて 3シーズン利用できるプールです さわやかな汗を流しませんか



開放日のプールには、市内各地区から狭山っ子が大勢訪れます。みんな元気いっぱい。とても楽しそうです。

このプールの一番の特徴は屋根と壁があることです。でも、屋根と言っても透明なもので、温室を想像していただくと分かりやすいと思います。屋根と周りの壁を透明にすることで、太陽熱を有効に使い、プール

今年度の開放は、9月24日までの土日曜日と夏休み期間のほぼ毎日を設定しているそうです。8月の予定はこの広報紙の19ページにありますのでご覧ください。開放時間は、夏休み

REPORTER'S EYE

入間川小学校プール



【リポーター】
松村圭子さん(広瀬東在住)

リポーターズアイでは、行政のしくみや話題性のあることから、市内のいろいろな施設などを、市民がレポートします。

梅雨明けも間近、もつと夏本番です。皆さんも海やプールへ行く計画を立てているのではないのでしょうか。遠くへ出かけるのもいいのですが、身近な所にもすてきな施設があるんです。今回は、皆さんにお勧めの入間川小学校のプールを体育課の西脇主任の案内で紹介します。昨年4月に移転・開校した入間川小学校は、太陽、風、水など自然エネルギーを活用しています。また、生涯学習への取り組みとして、学校の施設を地域に開放しています。その一つがプールの開放です。

このプールの一番の特徴は、屋根と壁があることです。でも、屋根と言っても透明なもので、温室を想像していただくと分かりやすいと思います。屋根と周りの壁を透明にすることで、太陽熱を有効に使い、プール

「泳いだ子どもたち」また来るからね」と言ってもらえるのがうれしいですね。ルールとマナーを守って多くの市民の皆さんに利用していただきたいと思います。「おっしゃる西脇さん。私も子どもと来ようと思います。皆さんもこのプールを活用してみてくださいませんか。」



25mプールのほかにも浅いプールがあって、保護者も安心して小さな子どもを遊ばせることができます。